

水島港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成25年12月

水島港港湾管理者
岡山県

目 次

I. 変更理由	1
II. 港湾の環境の整備及び保全に関する資料	2
II-1. 廃棄物処理計画	2
II-2. 港湾環境整備施設計画	3
III. 土地造成及び土地利用計画に関する資料	5
III-1. 土地利用計画	5
IV. その他の資料	6
IV-1. 環境の保全に関する資料	6
IV-2. 地方港湾審議会名簿	8

I. 変更理由

廃油処理施設の廃止に伴い、土地利用の効率的な利用を積極的に推進し、良好な港湾の環境の形成を図るため、廃棄物処理計画、港湾環境整備施設計画及び土地利用計画を変更する。

Ⅱ. 港湾の環境の整備及び保全に関する資料

Ⅱ－１. 廃棄物処理計画

(1) 概要

水島地区の高島に位置する廃油処理施設は、民間会社による廃油処理の開始等により、平成12年には休止するに至った。

また、近年では施設の老朽化が進み、廃油処理施設としての再開の見込みもないことから、施設を廃止する。

(2) 廃棄物処理施設の規模及び配置

今回廃止する廃棄物処理施設の規模及び配置は、表Ⅱ-1-1及び表Ⅱ-1-2に示すとおりである。

表Ⅱ-1-1 今回廃止する廃棄物処理施設の規模及び配置

地区名	施設	面積 (ha)	状況	廃棄物処理施設の種類
水島 地区	廃棄物処理 施設用地	0.6	既設	廃油処理施設

表Ⅱ-1-2 今回撤去する廃棄物処理施設の規模及び配置

地区名	施設	水深 (m)	バース数
水島 地区	ドルフィン	－8	4

Ⅱ－２．港湾環境整備施設計画

(1) 緑地計画

1) 緑地の現況

水島地区における緑地の現況は、表Ⅱ-2-1 及び図Ⅱ-2-1 に示すとおりである。

2) 緑地計画の必要性

地域住民が憩い、交流する空間の創出を図るとともに 良好な港湾の環境の形成を図るため、表Ⅱ-2-2 及び図Ⅱ-2-2 のとおり、緑地計画を変更する。

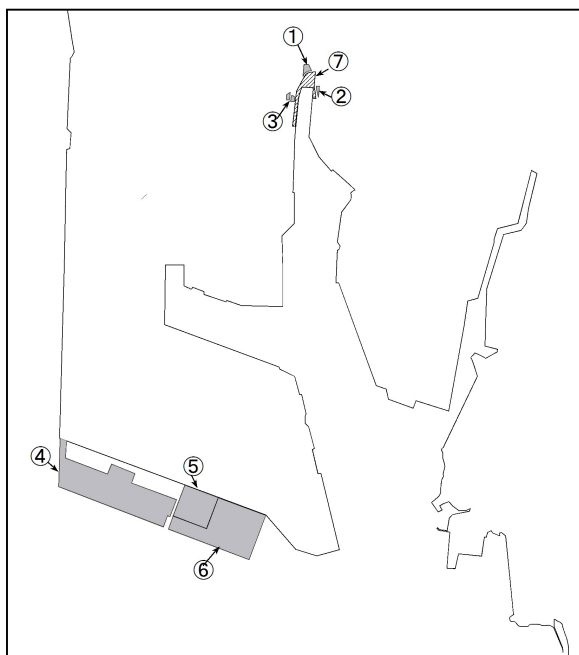
表Ⅱ-2-1 水島地区における緑地の現況

地区	位置	面積 (ha)	主な用途	備考
水島地区	①	0.7	休息緑地	既設
	②	0.3	休息緑地	既設
	③	1.0	休息緑地	既設
	④	67.1	修景緑地	工事中
	⑤	21.5	修景緑地	既設
	⑥	44.5	親水・修景緑地	工事中
	⑦	4.3	休息・修景緑地	既定計画

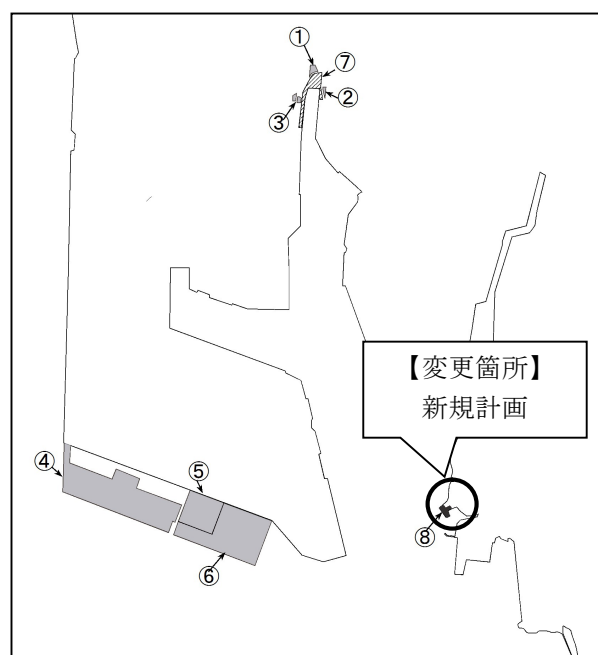
表Ⅱ-2-2 水島地区における緑地計画の変更

地区	位置	面積 (ha)	主な用途	備考
水島地区	⑧	0.6	休息・修景緑地	新規計画

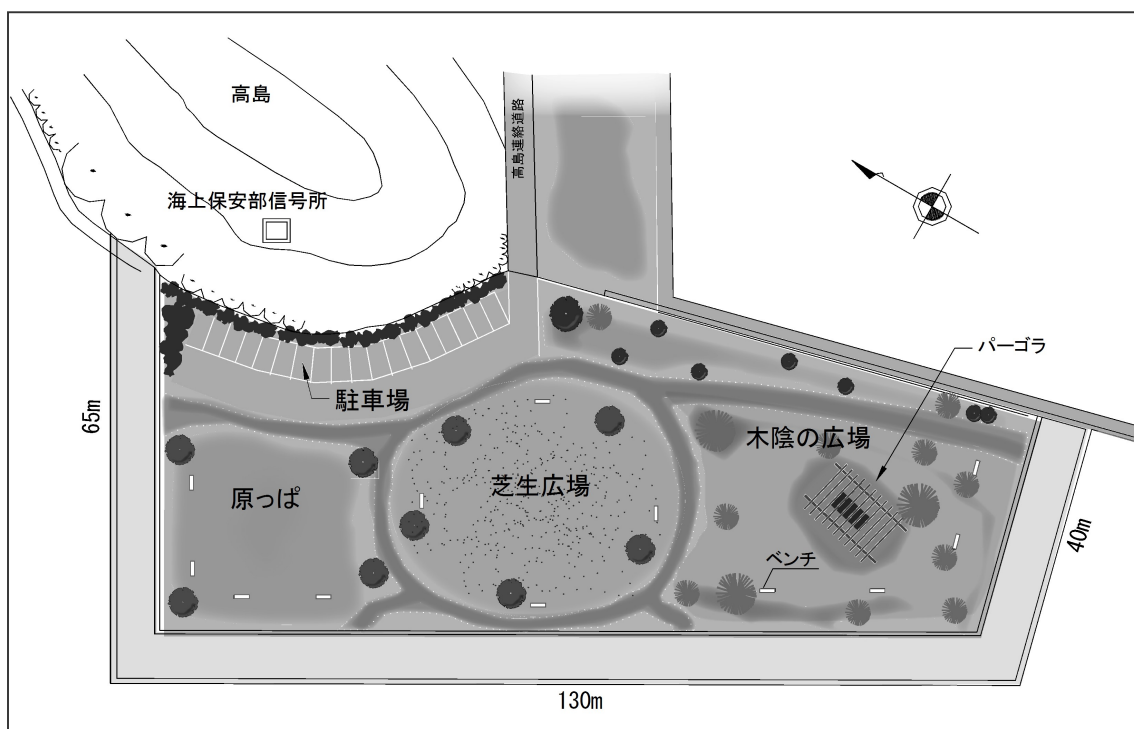
注1) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。



図Ⅱ-2-1 水島地区における緑地位置図 (変更前)



図Ⅱ-2-2 水島地区における緑地位置図 (変更後)



図Ⅱ-2-3 緑地構想図

Ⅲ. 土地造成及び土地利用計画に関する資料

土地利用の効率的な利用を積極的に推進するため、土地利用計画について、以下のとおり計画を変更する。

Ⅲ－１. 土地利用計画

表Ⅲ-1-1 土地利用計画（今回計画）

（単位：ha）

用途 地区名	埠頭 用地	港湾 関連 用地	工業 用地	交通 機能 用地	危険物 取扱施 設用地	緑地	廃棄物 処理施 設用地	合計
水島 地区	(10.4) 10.4	(4.2) 4.2	(2,069.2) 2,069.2	(37.3) 37.3	(2.9) 2.9	(140.0) 140.0	(29.2) 29.2	(2,293.2) 2,293.2

注1) () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。

既定計画

表Ⅲ-1-2 土地利用計画

（単位：ha）

用途 地区名	埠頭 用地	港湾 関連 用地	工業 用地	交通 機能 用地	危険物 取扱施 設用地	緑地	廃棄物 処理施 設用地	合計
水島 地区	(10.4) 10.4	(4.2) 4.2	(2,069.2) 2,069.2	(37.3) 37.3	(2.9) 2.9	(139.4) 139.4	(29.8) 29.8	(2,293.2) 2,293.2

注1) () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。

IV. その他の資料

IV-1. 環境の保全に関する資料

(1) 基本方針

今回計画が周辺環境に与える影響と評価は、以下に示すとおり選定項目ごとに予測・評価を実施した。

1) 項目の選定

項目の選定については、表IV-1-1 に示すとおりである。

表IV-1-1 項目の選定

環境要素の区分		項目	選定理由等
大気環境	大気質	二酸化窒素	今回計画の内容により選定した。
	騒音	道路交通騒音	
	振動	道路交通振動	

2) 予測及び評価の考え方

予測及び評価の考え方については、表IV-1-2 に示すとおりである。

表IV-1-2 予測及び評価の考え方

環境要素の区分		予測	評価
大気環境	大気質	今回計画に定められる事項による環境への影響を考慮し、定性的に予測した。	今回計画により周辺環境へ著しい影響を及ぼさないこと。
	騒音		
	振動		

(2) 環境への影響と評価

1) 大気質への影響と評価

本計画変更に伴う自動車からの負荷量は、ごく僅かであることから、大気質への影響は軽微であると考えられる。

2) 騒音への影響と評価

本計画変更に伴う新たな交通量は、ごく僅かであることから、今回計画が与える騒音への影響は軽微であると考えられる。

3) 振動への影響と評価

本計画変更に伴う新たな交通量は、ごく僅かであることから、今回計画が与える振動への影響は軽微であると考えられる。

(3) 総合評価

今回計画が周辺環境に与える影響について評価を行った結果、本計画変更に伴う周辺環境への影響は軽微であると考えられる。

なお、今回計画の実施にあたっては、工法、工期等について十分に検討し、十分な監視のもとに環境に与える影響を小さくするよう配慮し、慎重に実施するものとする。

Ⅳ－２．地方港湾審議会名簿

岡山県地方港湾審議会水島港部会委員名簿

平成25年12月19日現在（敬称略、順不同）

１ 学識経験を有する者

千葉 喬三	学校法人 就実学園 理事長
井上 欣三	国立大学法人 神戸大学 名誉教授
菅 浩伸	国立大学法人 岡山大学大学院 教授
山本 幸子	山本幸子一級建築士事務所 建築士
片山 浩子	一般社団法人 中国地域ニュービジネス協議会 副会長
金澤 寛	独立行政法人 港湾空港技術研究所 顧問
木村 玲子	日本貿易振興機構（ジェトロ）岡山貿易情報センター 所長

２ 港湾関係者

岡崎 彬	岡山県商工会議所連合会 会長
奥野 雄二	岡山県漁業協同組合連合会 会長
小坂 貞昭	岡山地区旅客船協会 会長
近岡 信夫	内海水先区水先人会 副会長
村瀬 勇人	中国地方港運協会 副会長
末長 範彦	岡山県倉庫協会 会長
久本 久治	岡山県船主協議会 理事長
荻山 淳	全日本海員組合尾道支部 支部長

３ 市町村を代表する者

伊東 香織	倉敷市長
-------	------

４ 県議会の議員

神宝 謙一	岡山県議会議員
加藤 浩久	岡山県議会議員

５ 関係行政機関の職員

寄高 真澄	財務省 神戸税関 水島税関支署長
栗田 悟	国土交通省 中国地方整備局長
山根 修司	国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局長
今井 丈二	海上保安庁 第六管区海上保安本部 水島海上保安部長 水島港長